

適用拡大  
日本芝  
(こうらいしば)  
藻類



響きあふ2つの効果で、藻類と病害をシャットアウト。

# エムシー

## 水和剤

特長

- ♪ 藻類とグリーンの重要病害を同時に防除
- ♪ 作用性が異なる2成分の組み合わせで耐性菌対策



藻類



炭疽病



カーブラリア葉枯病



ブラウンパッチ





作物名	適用病害名 及び雑草名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ペンチオピラドを含む 農薬の総使用回数	マンゼブを含む 農薬の総使用回数
西洋芝 (ペントグラス)	藻類	167倍 (薬量 として 3g/m <sup>2</sup> )	0.5L/m <sup>2</sup>	藻類 発生初期	3回以内	散布	8回以内	3回以内
	葉腐病(ブラウンパッチ) 炭疽病 ダラースポット病			発病初期				
日本芝	カーブラリア葉枯病			藻類 発生初期				
日本芝 (こうらいしば)	藻類							

- ・藻類および各種病害の発生(発病)前から初期にかけての使用が最も効果的かつグリーンの安全性も高まります。
- ・1回処理でも高い殺藻効果を発揮しますが、2~3回の反復によりさらに長い期間藻類を抑制します。
- ・各種病害に対しては予防効果に加え、菌糸伸長阻害作用による治療効果も期待できます。



### 使用上の注意事項

#### 効果・薬害等の注意

- ① 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ② 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- ③ 西洋芝(ペントグラス)に使用する場合は次の事項に注意してください。
  - ・藻類が著しく繁茂した状態では効果が劣ることがあるので、時期を失しないように散布してください。
  - ・夏期高温時に連用散布すると、黄変などの薬害が生ずるおそれがあるので注意してください。
- ④ 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ⑤ 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

#### 安全使用上の注意

- ① 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ② 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とし落としてください。

- ③ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- ④ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ⑤ かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- ⑥ 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

#### 魚毒性

- ① 水産動植物(魚類、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- ② 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### 保管

- ① 湿気を吸うと分解して効力が低下するので、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。また、食品と区別してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は2016年7月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

